

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 平成31年3月30日

事業所名: 療育広場 ばっそ 中田教室

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	現状についての認識	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2			・指定基準を満たしたスペースを確保してあります	
	② 職員の配置数は適切であるか	2			・法令で必要とされる職員を配置しております。	・数的な配置基準だけに捉われることなく、支援の質確保の観点から、適切な職員配置に留意していきます。
	③ 生活空間は本人にわかりやすい構造化された環境(※1)になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、リアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2			・構造的に部屋を分けることができなかったためパーテーションで区切りたりわかりやすくしております。	
	④ 生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2			・毎日支援終了後に丁寧に清掃を徹底し、清潔に保つよう心掛けております。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためにPDCA(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか			2		・月1回、職員会議又は全体研修会の実施を検討していきます。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			2		・今後、年1回のアンケート調査を実施し、保護者等の意向を把握・確認し、業務改善につなげていきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか			2	・ホームページでの公開を開始しました。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			2	・外部評価の必要性は認識しておりますが、現在は未実施のため、今後検討していく予定です。	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか			2		・職員の資質向上のためには、勤務時間内に計画的に研修機会を設けることを検討していきます。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか			2	・年度初めに保護者様との面談を実施し、お子様と保護者様のニーズや課題を把握し、個別支援計画を作成しております。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を開るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			2		
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか			2	・お子様と保護者様のニーズや状況に応じて、支援内容を設定しております。	・支援計画の作成に際しては、職員から児童発達支援計画の原案について意見を聴取する等、担当の職員を積極的に関与させるよう努めていきます。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2			・個別支援計画に沿って支援を行っております。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	2			・職員全員で意見交換を行い、立案しております。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか			2	・お子様の発達や興味に応じて、固定化しないようプログラムを作成しております。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか			2		
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容の内容や役割分担について確認しているか			2	・朝の繁忙時には、打ち合わせの時間が取れない時もありますが、職員間のコミュニケーションを徹底し、より良い支援を実施していくよう努めています。	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		1	1	・個別には情報交換を行っていますが、ルーティンとして職員間の情報共有を目的とした打ち合せ等の時間は確保しておりません。後日、共有する事が多いように思われます。	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		1	1	・記録はしていますが、それが必ずしも検証・改善に結び付いているとは言えないと認識しています。	
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか			2	・6か月の計画期間ごとに、会議内でお子様の事例を共有・議論し、計画の見直しの必要性を判断しております。		
関係機関や	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか			2	・児童発達支援管理責任者が出席しております。	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか			2		・母子保健や医療機関等での発達相談や保育所等の利用を通して、発達支援の必要性が気付かれることも少なくないため、気付きの段階から継続的支援が行えるよう関係機関との連携に努めていきます。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				・現在、医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません。	

保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等の情報共有と相互理解を図っているか			・現在、医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません。		
	⑮ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	1	・通所の際にはモニタリング報告書を作成し、情報共有できるようにしております。	・保護者様のご希望に応じて、情報共有と相互理解を図っていきます。	
	⑯ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2		・通所の際にはモニタリング報告書を作成し、情報共有できるようにしております。	・保護者様のご希望に応じて、情報共有と相互理解を図っていきます。	
	⑰ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		2	・支援内容を相互に理解しておくため、保護者の了解を得た上で、相互の支援内容や個別の支援計画の内容等について情報共有を図っております。		
	⑱ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2				
	⑲ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会等へ積極的に参加しているか	2				
	⑳ 日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	2		・毎回の支援終了後に、保護者様にフィードバックする時間を設けております。また、ご希望に応じて、事業所内相談支援も行っております。		
	㉑ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2		・日々の連絡帳でのやり取り、送迎時の対応の際にアドバイスを行っています。		
	㉒ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2		・契約の際に説明させていただいております。		
	保護者への説明責任等	㉓ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		2		
㉔ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		1	1	・毎回の支援終了後に、保護者様にフィードバックする時間を設けております。		
㉕ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2				
㉖ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		2		・何かあれば副長に上申するとい体制を整えております。		
㉗ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			2	・保護者に対しては、副長からメールにて連絡等を行っております。		
㉘ 個人情報の取扱いに十分注意しているか		2		・個人情報の取扱いには十分注意し、書類等は施錠して管理しております。		
㉙ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		2		・視覚的に提示したり、書面で分かりやすくなどの配慮をしております。		
㉚ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか		2		・研修会開催の案内をホームページで公開しています。		
非常時等の対応		㉛ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		2	・各種マニュアルは整備が十分ではなく、保護者等への周知も徹底されていないと認識しております。	今後、各種マニュアル等の整備を行い、掲示等でお知らせしていきます。
		㉜ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	2		・定期的に避難訓練を実施しています。	
	㉝ 事前に、服装や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	2		・児童発達支援管理責任者や担当職員が保護者様から丁寧に聞き取りを行い、職員の対応方法についても事前に保護者様の同意を得ております。また、この情報は、全職員に周知徹底しております。		
	㉞ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	2		・保護者から届取し、給食センターとは連携しておりますが、医師の指示書に基づく対応は不十分だと認識しております。		
	㉟ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2		・ヒヤリハット事例集は作成しておらず、今までヒヤリハットに該当する事象があったのか否かについても詳しく確認していません。		
	㊱ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2		・定期的に虐待防止等の人権研修を実施し、園内で虐待等権利侵害の状況について職員相互でけん制しております。		
	㊲ どのような場合いやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2		・重要事項説明で身体拘束について説明を行っております。		